



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療  
先進医療の推進  
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎  
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

## 新年度を迎えて 一なるようになる 心配するな—

顎関節症治療科 科長 船登 雅彦

桜のピンクの花びらが咲き誇っている場所が少なくなり、花が散り黄緑色の葉桜へと変わっている場所が増えてきました。一方では黄色の菜の花が眩しい季節となりました。

この時期は新しい職場に就職された方ならびに入学あるいは進級された学生さんが胸を躍らせながら通う意気揚々とした顔が目飛び込んできます。歯科病院においても若々しい新入職員、歯科医師1年目の臨床研修医および患者さんの実習を行うことが担保された臨床実習学生がところ狭しと活動を始めております。本院は大学の附属病院として高度な専門歯科医療を患者さんに提供するとともに、教育病院として歯科医療を担う医療人を育成するため臨床研修医の指導を行い、また、知識、技能および態度を担保した全国統一の共用試験に合格した学生が指導医のもとで診療参加型臨床実習を行っています。皆、志を新たに目標達成のために頑張っておりますので、ご理解とご協力をどうぞよろしくおねがいたします。

さて、4月～5月は新人の方ばかりでなく、職場の部署や仕事の内容が変わったことにより、不安やストレスを感じる機会が多くなります。食事、嚥下あるいは会話以外の時は下顎を安静にしますので、普通は上下の歯の間に隙間があります。しかし、知らず知らずのうちに下顎を動かす筋肉に力が入ってくると、下顎が挙上され上下顎の歯が接触した状態となります。上下の歯の接触が軽くても長時間経過すれば、筋肉には疲労が蓄積し、顎関節は虚血状態となり痛みが生じます。

さらに、力をいれて食いしばっている場合には首や肩の筋肉にさえも緊張が高まり、首こりや肩こりを訴えるようになります。

顎関節症治療科を受診される患者さんは、あごを動かしたときに“カクツ カクツ”、“ジャリッ ジャリッ”と音がする、口を大きく開ける時や食べ物を噛む時にあごに痛みがある、あるいは、あごの痛みやひっかかりによって口が十分に開かないなどと訴えます。しかし、最近では「口を開けると首が痛い」、「あごの痛みがひどくなり首が回らない」など、首や肩の症状との関連を訴える方が増えています。顎関節症の患者さんで腰の痛み、背中中の痛み、あるいは手足のしびれを訴え整形外科を受診し、検査の結果どこにも異常がないことがあります。そんな場合、下顎を動かす筋肉だけでなく全身の筋肉が緊張していることが考えられるのです。全身の筋肉を緊張させるほどの心理的負担を抱えてしまったことによるものです。さらに、考えれば考えるほど不定愁訴が増えてしまいます。顎関節症治療科では“あごの痛み”や“あごの動きにくさ”を改善する治療を行うだけでなく、不安や緊張をほぐすことも視野に入れたテーラーメイド治療を行っています。

新年度を迎えて不安やストレスに打ち勝つために、患者さん、地域歯科医師会の先生方、および歯科病院の皆様にご覧に『なるようになる 心配するな』(一休和尚)という言葉をお送りします。



## 顎関節症治療科 紹介

間食で堅焼きせんべいをポリポリ食べる、熱燗を一杯やりながらスルメをかじる、あるいはワイン片手にフランスパンを食べる。「ああ、美味しい！」と小さな幸せ気分を感じる時間です。しかし、その後アゴがだるくなる、こめかみに疲れを感じるなどの経験をすることがあります。さらに、その症状が徐々に悪化し、アゴを動かす時に痛みを感じる、口が大きく開かないといった症状が出て日常生活に支障をきたす方もいらっしゃると思います。その他、アゴを動かしたときに“カクッ カクッ”と耳の前で音がするなど、このような症状は顎関節症(かかんせつしょう)という病気の可能性があります。顎関節は頭蓋骨の耳の孔の前の凹んだ部分の骨とその中に入り込む下顎から伸びてきた突起の骨(下顎頭)とで蝶つがいのような仕組みになっています。この骨どうしの中にクッション(関節円板)がはさまっています。(図1)

この関節円板がずれて変形すると、口を開けようとするときに下顎頭が引っかかり、口が大きくあかない状態となります。この場合には顎関節に注射をして下顎頭の引っかかりをはずします。

また、下顎を動かす筋肉に“しこり”ができて痛む場合には“しこり”の部分に注射をして、痛みをやわらげます。しかし、注射が怖い方にはリハビリトレーニングを指導し、徐々に下顎頭の引っかかりをはずす、あるいは下顎を動かす筋肉の痛みをやわらげる治療を行います。寝ている時の歯ぎしりや喰いしばりが原因と考えられる場合には睡眠時用のマウスピース(ナイトガード)(写真1)を製作します。

食べ物を噛む、あるいは飲みこむ時には上下の歯が接触します。昼間の上下の歯を接触する時間を計測した研究では1日24時間中わずか17～18分です。何もしない時は上下の歯は少し離れて

います。しかし、集中して作業を行っている場合などに上下の歯を接触させる癖を持っている方がいます。上下の歯を接触させる時には下顎を持ち上げる筋肉を使いますので、長い時間この状態が続くと筋肉に疲労が溜まっていきます。また、顎関節も圧迫され続けるので、痛みが出てしまいます。このような場合には当科の臨床的研究で効果が明らかになった認知行動療法でこの癖を是正していきます。

顎関節症は初期の段階なら早く治ります。「アゴがおかしいな！」と思ったら、少数精鋭の専門医がそろった「顎関節症治療科」を是非受診してください。

顎関節症治療科 科長 船登 雅彦

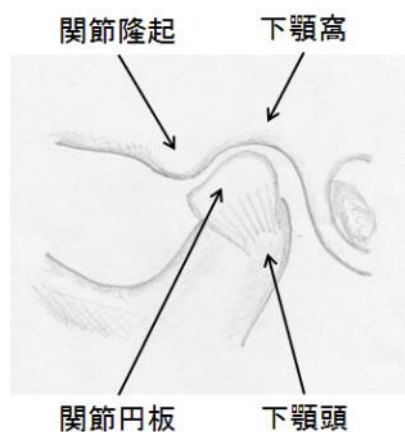


図1 顎関節の構造



写真1 上顎に装着した治療用マウスピース



当院には、美容歯科の個室診療室に「お口の健康センター」が併設されております。

ここでは、お口の健康を保つために歯科衛生士による歯ブラシの使い方や、歯を清潔に保ついわゆるPMTCなどを行っています。特に当診療科は、ホワイトニング(お薬で歯を白くする)を希望しておみえになるかたが多くいらっしゃいます。口腔疾患の治療と、ホワイトニングまで終了した患者さんを対象に、お口の健康センターで、歯科衛生士が歯科医師と連携し患者さんの口腔管理をしています。

ホワイトニングは口腔管理が非常に重要です。飲食の制限(着色しやすい食べ物や飲み物など)やブラッシング方法そして禁煙など、いろいろ注意することがたくさんあります。さらに、ホワイトニングした後の白さを保つためにメンテナンスが必要不可欠で、その為には、歯科衛生士による丁寧な説明が必要です。

また、口腔管理を継続させるためには、我々がお口の状態を知ることが必要となります。そこで、細菌数検査と口臭測定を導入することとなりました。細菌数検査は、細菌数測定装置 細菌カウンタ(図1)により、お口の中の細菌数を測定し、口腔内の状態を把握します。

口臭測定は、口臭測定器(図2)を使用します。この口臭測定器は、口腔内ガス中の主要な成分とされる揮発性硫黄化合物を三要素ガス(硫化水素・メチルメルカプタン・ジメチルサルファイド)に分離しガス濃度を測定することができます。口腔内ガスの一つである硫化水素は、最も多く検出され、生理的口臭の原因となります。メチルメルカプタンは、歯周病により大量に発生いたします。ジメチルサルファイドは、歯周病が進行すると量が多くなるガスとされております。この測定器を使用して、口臭の有無そしてどれだけ低減されたかを知ることができます。

ホワイトニングをご希望のかたを含め、ぜひお口の健康センターで、歯科衛生士によるお口の管理、メンテナンスを行うことをお勧めいたします。

ご不明な点がありましたら歯科医師、歯科衛生士にご相談ください。



図1 細菌数測定装置 細菌カウンタ (パナソニック)

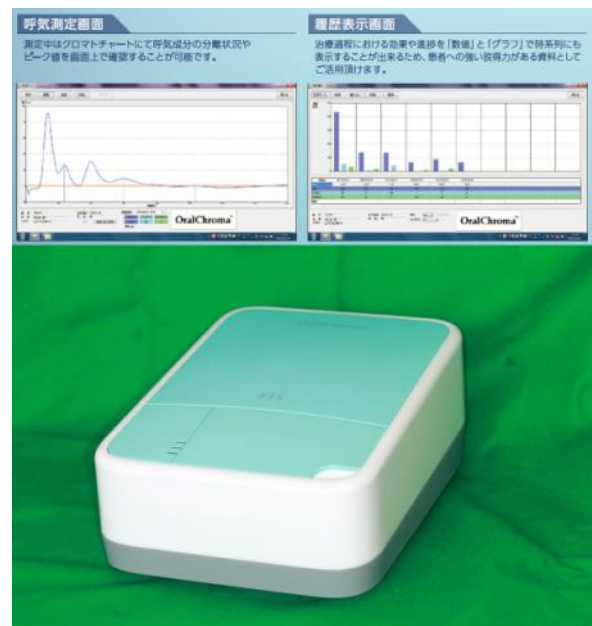


図2 口臭測定器 オーラルクロマ (エフアイエス)

## 平成25年度 病院長表彰

平成25年度昭和大学歯科病院長表彰は障がい者歯科の浅川剛吉先生ならびに補綴歯科の馬淵あずさ先生が受けられ、3月26日表彰式が執り行われました。

浅川先生は障がい者歯科診療を通じての地域医療貢献により、馬淵先生は歯科学生の臨床教育の向上により、各々の診療科長である船津先生、馬場先生から推薦されました。先生方おめでとうございます。

病院広報委員長 高橋 浩二



榎病院長(中央)の左が馬淵あずさ先生、右が浅川剛吉先生

## 平成26年 新入職員紹介



入職式の様子

皆さま、よろしくお願ひします。

前列左より、歯科衛生室 岡本 麻聡江、大橋 優子、榎病院長、飯島副院長、歯科衛生室 五十嵐 早紀、中村 真輝

後列左より、看護部 深澤 美菜、歯科衛生室 宮崎 美由紀、渡瀬 穂奈美、山岸 由伽、篠崎 由季、坂本 奈津季

## 編集後記

三寒四温の日々もようやく過ぎ去り、春うららの季節となりました。看護部、歯科衛生室に新しいスタッフが加わり、新年度の診療体制はさらに充実したものとなりました。

皆様、本年度も歯科病院のスタッフ一同は至誠一貫の昭和大学の建学の精神を具現化すべく、安心、安全、的確な診療をご提供できますよう最大限努力してまいります。  
(K.T)

